内容をご熟読ください。

Security System TERRA™

Owner's Guide

TERRA TS-1 取扱説明書

お願い
本説明書には車載物盗難保険及び見舞金制度についての記載がございますが、2009年12月31日を持って終了いたしました。
ご了承ください。

TERRA™ is the exciting new line of security products from KATO-DENKI, empowering users to control and monitor their vehicles from anywhere in the world. From alarm security to remote start to vehicle tracking, TERRA™ offers companies, banks, police departments, transportation agencies and end users the ultimate in convenience, control, and peace of mind. TERRA™ is quite simply the most advanced security system ever produced for automotive applications. Protect your automotive investment and enjoy global access to your vehicle today with TERRA™!

KATO-DENKI

取付には専門の技術が必要です。

ご使用になる前に

この度はTERRA TS-1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
この取扱説明書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。この取扱説明書に記した注意事項は、TERRAを安全かつ正しくご使用していただき、事故や損害を未然に防止するための大切なものです。
TERRAは安心と安全をサポートするあなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いいただき、末長くご愛用ください。

危険

取扱を誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項

警告

取扱を誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項

注意

取扱を誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか物的損害のみの発生が想定される事項

禁止

禁止行為を表す記号です。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒントなどを説明しています。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒントなどを説明しています。

強制・制約・指示等を表す記号です。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

目　次

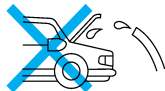
安全上のご注意

⚠ 警告

●サイレンを取付けたままエンジンルーム内の洗浄をしないでください。
ショートにより、感電や機器が損傷する可能性があります。

●TERRAおよびオプション類の取付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にておこなってください。また車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取付けを行うと車両、TERRAの故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

●TERRAおよびオプション部品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。
製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。

●TERRA TS-1は警報発報にサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす可能性があります。

使用上のご注意

本製品をご利用の前に必ず本説明書をご熟読の上、正しくお使いください。
ご不明な点がありましたら、取付けあるいはご使用前にお問い合わせください。

（1）適応車種限定品です

取付可能な車種は、下記条件を全て満たし、弊社が適応車種として認定している車種に限定されています。

⚠ 危険

●アナログ制御車種限定
コンピューターによるデジタル多重伝送通信を行っている車両では装着できません。
装着をした場合はTERRAのみならず車両の機器を破損する可能性があります。

●国産車限定
日本国内メーカーの車両に対応しています。
並行輸入車、外国車への取付けサポートは一切行っておりません。

●D.C.12Ｖ車専用
24Ｖバッテリーを使用している24Ｖ車には装着できません。

（2）使用上のご注意

⚠ 注意

●テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。

●本製品の警告音、サイレン音は、防犯上非常に効果的な128ｄＢで発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で、適切な感度にてご利用ください。

●本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。

●本製品はDDIポケット（株）の通信ネットワークを利用したシステムです。
電波の届かない場所や不安定な場所ではご利用いただけない場合があります。

●TERRA通信ユニットは当社からのレンタル品となります。
ご解約時には必ず当社へご返却願います。

●２段階衝撃センサー５０４Ｄは周囲の温度変化により感度が変化することがあります。

●本製品の動作の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任は一切負いかねますのでご了承ください。

●当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切おこなっておりませんのでご了承ください。

●車種によりTERRA製品またはオプション部品の接続が不可能な場合があります。

●TERRA TS-1はTERRA通信サービス契約の規定に基づいて運用されます。
ご契約書記載の内容を十分にご理解いただいた上でご利用ください。

TERRA™ の特徴

高感度２段階衝撃センサー（504D）（特許）

P.21、22参照

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる弱い衝撃と強い衝撃を自動判別して警告音またはサイレン音を鳴らして威嚇します。（ボリューム感度調整）。風などの揺れにはまったく反応せず、瞬間的に加わる衝撃あるいは衝撃波のみを検出できます。
また、窓ガラスの破損時やタイヤ盗難などの連続した微振動を検出すると、警告音からサイレン音または即サイレン音を鳴らして威嚇できます。

※衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場の近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風など）により微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にもサイレンが鳴る場合があります。センサーの特徴をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。
※警告、サイレンのセンサー感度を別々には設定できません。
※一般的に衝撃センサーで傷つけを防ぐことはできません。

ドアトリガー

ドアトリガー線（緑線）をドアカーテシスイッチに接続することによって、確実にドアの開閉を検出することができます。

緊急通報時には「ドアが警告（警報）を発報しました。」と流れます。

＊ドア、トランクスイッチが独立している一部車両では分岐接続する必要があります。
＊ドアトリガー線を分岐配線する場合には別売のダイオード〔650T〕が必要です。
＊ドアスイッチがプラスコントロールの車両ではご利用いただけません。

１２８dB、６音色サイレン

128デシベル6音色サイレンで撃退効果は抜群です。サイレンタイムは約５秒、１０秒、１５秒、３０秒から選択できます。

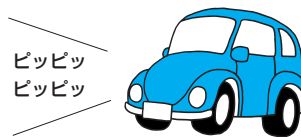
クリックトーンＯＮ／ＯＦＦ（動作確認音）

P.16参照

深夜の帰宅やTERRA TS-1の作動を周囲に気づかれたくないときなどにクリック音を出さずにTERRA TS-1のＯＮ／ＯＦＦができます。

メモリー機能（発報履歴確認）

P.14参照

ピッピッ
ピッピッ

クリックトーン（動作確認音）が変化して異常をレポートしてくれます。
また、警報の発報の有無の確認が電話からできます。どのセンサーが作動して、警告または警報がでたかの確認ができますので、どのようないたずらや犯罪が発生したかをある程度特定することができます。

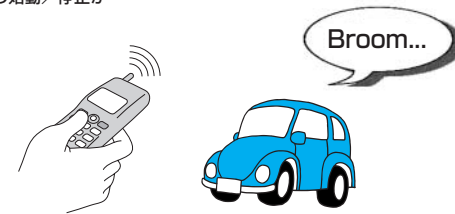
パニックモード

P.19参照

いざというとき、大きな声では叫べないもの。でも、パニックモードならお手持ちの携帯電話などから強制的にサイレンを鳴らすことができます。

ホーネットエンジンスタータRSK-1対応

P.20参照

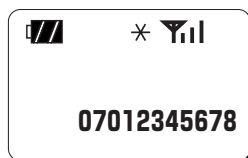
別売のホーネットエンジンスターターRSK-1を使用することで、電話からエンジンの始動／停止ができるようになります。

低消費電流

メインユニットの待機電流はおよそ11mAなのでバッテリーも安心。

※電話回線の使用中は消費電流が増加します。
※オプションを増設すると消費電流は増加します。

【暗証番号登録】

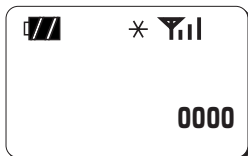
●TERRA出荷時には暗証番号は「００００」にセットされています。
ご利用の前に、安全のため暗証番号を登録します。暗証番号は第三者に分かりにくい番号を設定してください。またTERRA通信ユニットの電話番号も他の人の目に触れないよう厳重に管理してください。

1 お手持ちの携帯電話や家庭電話（トーン信号の出るもの）からTERRAに電話をかけます。
（TERRA通信ユニットに添付の電話番号に電話をかけます）

07012345678

右はTERRA通信ユニットの電話番号が「07012345678」の場合です。

2 TERRAに接続されると「暗証番号を入力してください」のメッセージが聞こえます。

ここで登録済みの暗証番号（初期値は0000）を入力します。

0 0 0 0

3 「暗証番号を認証しました」のメッセージが聞こえます。

ここからコマンドモードになり、各種命令ができます。ここではまず、暗証番号を登録します。暗証番号入力コマンド９０１を入力します。

9 0 1

※コマンド入力を終了する場合には電話機の通話終了ボタンで通話を終了してください。
※コマンドは３０秒以内に行ってください。３０秒操作のない状態が続くと自動的に回線を切断します。
※お手持ちの電話機からコマンドをした場合には、お手持ちの電話機の接続している回線の電話料金がかかります。
※一旦回線を切断し再度TERRAと通信する場合には、必ず３０秒以上待ってから電話をかけてください。

4 「暗証番号を登録します、暗証番号を４桁入力してください」のメッセージが流れます。

お好きな暗証番号を４桁入力してください。

5 「もう一度暗証番号を４桁入力してください」のメッセージが流れます。

再度同じ暗証番号を４桁入力してください。

1 2 3 4

6 「暗証番号を登録しました」のメッセージが流れます。

これで暗証番号の登録が終了しました。
次回操作からこの暗証番号を使用しますので、忘れないように大切に保管してください。

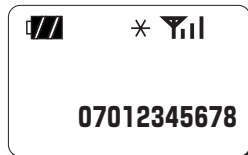
以後操作を行わない場合には、ここで電話を切ります。
操作を継続する場合には、次のコマンドを入力します。

暗証番号メモ

（　月　日）□□□□
（　月　日）□□□□
（　月　日）□□□□
（　月　日）□□□□

※暗証番号は１１１１、２２２２、１２３４など簡単なものや誕生日などを避けてできる限り第三者が分かりにくいものをご使用ください。
※暗証番号は当社でも管理できませんので、忘れないように大切に保管してください。
万一忘れてしまった場合には当社カスタマーセンター（0569-26-0088）までご相談ください。初期値「００００」にリセットするための手続きについてご案内します。

【TERRAを作動する】

1 お手持ちの携帯電話や家庭電話（トーン信号の出るもの）からTERRAに電話をかけます。
（TERRA通信ユニットに添付の電話番号）

右はTERRA通信ユニットの電話番号が「07012345678」の場合です。

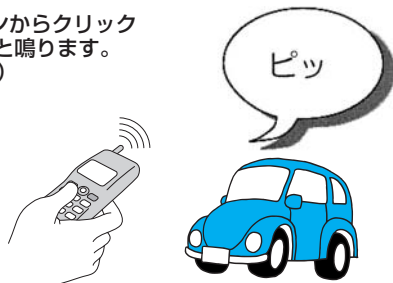
2 TERRAに接続されると「暗証番号を入力してください」のメッセージが聞こえます。

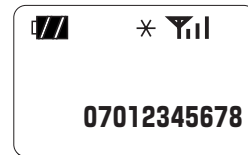
ここでP. 7 で登録した暗証番号を入力します。

認証されると「暗証番号を認証しました」のメッセージが聞こえます。
以後コマンドモードに入ります。

3 1 1 1 を入力します。

「ホーネット（バイパー）を作動しました」のメッセージが流れてTERRAがONになります。

TERRAがONになるとサイレンからクリックトーン（動作確認音）が「ピッ」と鳴ります。
（クリックトーン設定がONの場合）

【TERRAを解除する】

1 お手持ちの携帯電話や家庭電話（トーン信号の出るもの）からTERRAに電話をかけます。
（TERRA通信ユニットに添付の電話番号）

07012345678

右はTERRA通信ユニットの電話番号が「07012345678」の場合です。

2 TERRAに接続されると「暗証番号を入力してください」のメッセージが聞こえます。

ここでP. 7 で登録した暗証番号を入力します。

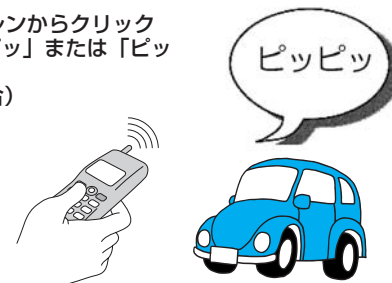
1 2 3 4

認証されると「暗証番号を認証しました」のメッセージが聞こえます。
以後コマンドモードに入ります。

3 1 1 3 を入力します。

113

「ホーネット(バイパー)を解除しました」のメッセージが流れてTERRAがOFFになります。

TERRAがOFFになるとサイレンからクリックトーン（動作確認音）が「ピッピッ」または「ピッピッピッピッ」と鳴ります。
（クリックトーン設定がONの場合）

緊急通報先を設定する　「TERRA警報発生時に設定した電話に緊急通報します」

【緊急通報先電話番号１、２、３の設定】

●TERRAが警告または警報を発した場合、あらかじめお手持ちの携帯電話やご自宅の電話番号を登録しておくことで、警報発報の有無を確認することができます。
通報先は最大３ヶ所まで登録できます。

●３ヶ所すべてを登録すると、１回の発報で３ヶ所すべての電話に順次通報がされます。すべての電話が通話中はたは電池切れなどで通信できなかった場合には、最大３回までリトライして、通報します。
TERRAを解除すると緊急通報の記憶は消去されます。（発報履歴は消去されません）

1 P.８と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

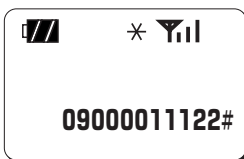
070123456781234

2 緊急通報先電話番号１を登録します。

「電話番号１を登録します。電話番号１を市外局番から入力してください。最後に＃を押してください。」のメッセージが流れます。

3 通報させたい電話番号１を登録します。市外局番から入力して、最後に＃を押してください。

09000011122#

確認メッセージが流れますので、電話番号が間違っていないか確認してください。
電話番号２（コマンド９８２）
電話番号３（コマンド９８３）も同様に登録します。

※登録した番号を消去する場合は、電話番号の替わりに「０＃」を入れてください。
※TERRAからの緊急通報の際に、TERRAの電話番号をナンバーディスプレイ機能付き電話に表示させたい場合には、登録する電話番号の前に１８６を入力してください。緊急通報時にディスプレイで電話番号の確認ができます。
※通報先の電話機が非通知発信の着信拒否設定をしている場合には、着信拒否を解除するか、登録する電話番号の前に１８６を入力し番号を通知してください。

センサーを設定する　「センサー１、２、３のON/OFFをする」

【センサー１、２、３をON/OFFする】

●TERRAに接続されたセンサー１、２、３を電話機からON/OFFすることができます。
環境に応じてセンサーを選択できてとても便利です。

1 P.８と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 センサー１をONします。

2 1 1

211

「センサー１を作動しました」

3 センサー１をOFFします。

2 1 3

213

「センサー１を解除しました」

センサーのON/OFFは下記のコマンド表に従って操作してください。

コマンド表

センサー番号	センサー	ON	OFF
1	メインユニット青線に接続したセンサー	211	213
2	メインユニットセンサー２ポートのセンサー	221	223
3	メインユニットセンサー３ポートのセンサー	231	233

※センサーはシステムが作動してから5秒以上待ってからテストしてください。
※センサーをOFFにしてもセンサーの電源がOFFになる訳ではありません。

【サイレンタイムを設定する】

●TERRAが警報を発報した場合のサイレン時間を５秒、１０秒、１５秒、３０秒から選択できます。

1 P. 8と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 サイレン時間を５秒にします。

6 0 5

「サイレン時間５秒機能設定しました」

605

3 サイレン時間を１０秒にします。

6 1 0

「サイレン時間１０秒機能設定しました」

610

4 サイレン時間を１5秒にします。

6 1 5

「サイレン時間１5秒機能設定しました」

615

5 サイレン時間を30秒にします。

6 3 0

「サイレン時間30秒機能設定しました」

【TERRA作動状況の確認】

●TERRAが作動中か解除中かを確認することができます。

1 P. 8と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 TERRA作動状況確認コマンドを入力します。

4 1 1

「ホーネットは作動中です／ホーネットは解除中です」とレポートしてくれます。

【エンジン作動状況の確認】

●エンジンが作動中かどうかを確認することができます。

1 P. 8と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 TERRA作動状況確認コマンドを入力します。

4 2 1

「エンジンは作動中です／エンジンは解除中です」とレポートしてくれます。

【発報履歴の確認】

●TERRAの警告や警報がどのセンサーによって出たかを確認できます。

1 P. 8 と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 発報履歴確認コマンドを入力します。

4 3 1

431

「センサー 1 は警報を 2 回発報しました」
「センサー 2 は警告を 2 回発報しました」
などの履歴をレポートします。

【発報履歴の消去】

●警報履歴のメッセージを削除します。

1 発報履歴確認コマンドを入力します。

4 3 3

433

「履歴を削除します。もう一度入力してください。」

2 発報履歴確認コマンドを入力します。

4 3 3

433

「履歴を削除しました。」

【警告時電話発信　設定】

●TERRAが警告を発した場合に緊急通報するように設定します。

1 P. 8 と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 警告時電話発信設定コマンドを入力します。

5 1 1

511

「警告電話発信機能設定しました。」

※センサーが反応して警告またはサイレンが発報した場合にあらかじめ登録済みの電話番号に緊急通報してくれます。

【警告時電話発信　解除】

●TERRAが警告を発した場合に緊急通報をさせないようにし、警報時のみ緊急通報するように設定できます。

1 警告時電話発信解除コマンドを入力します。

5 1 3

513

「警告電話発信解除しました。」

※センサーが反応して警報がでた場合にのみあらかじめ登録済みの電話番号に緊急通報してくれます。

【クリックトーン　設定】

●TERRAの作動解除時のクリックトーン（動作確認音）が出るように設定します。

1 P. 8 と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 クリックトーン設定コマンドを入力します。

5 2 1

521

「クリックトーン機能設定しました。」

※システムの作動／解除時にクリックトーン（動作確認音）が鳴って知らせてくれます。

【クリックトーン　解除】

●TERRAの作動解除時のクリックトーン（動作確認音）が出ないように設定します。

1 クリックトーン解除コマンドを入力します。

5 2 3

523

「クリックトーン解除しました。」

※システムの作動／解除時にクリックトーン（動作確認音）がでなくなります。
ただし、センサーバイパス警告がONの場合、センサーバイパス警告確認音はでます。

【センサーバイパス警告　設定】

●システム作動時にセンサーが作動していた場合にセンサー作動中警告音がでるように設定します。

1 P. 8 と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 センサーバイパス警告設定コマンドを入力します。

5 3 1

「センサーバイパス警告機能設定しました。」

※システム作動時にセンサーが働いていた場合動作確認音「ピッ」がなってから約 5 秒後に再度「ピッ」と鳴って知らせてくれます。
半ドアのチェックなどに便利な機能です。

【センサーバイパス警告　解除】

●システム作動時にセンサーが作動していた場合にセンサー作動中警告音がでないように設定します。

1 クリックトーン解除コマンドを入力します。

5 3 3

「センサーバイパス警告解除しました。」

※システム作動時にセンサーが働いていてもバイパス警告音はでません。
システム作動時とはシステムをONにした時点のことです。

【アクティブ、パッシブ、強制パッシブ　設定】

●アクティブ設定の場合､電話機またはオプションの４５５Ｊドアロックインターフェイスを利用し､車両純正のキーレスエントリーリモコンによってシステムの作動／解除ができます。
●パッシブではエンジン停止後、ドアの開閉を確認後約３０秒後に自動的にシステムを作動します。
●強制パッシブは車両の状況に関係なくエンジン停止後約３０秒で自動的にシステムを作動します。

1 P. 8 と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 アクティブ設定コマンドを入力します。

5 5 1

551

「アクティブ機能設定しました。」

※電話またはキーレスエントリーリモコンのみで作動／解除が行えます。

3 パッシブ設定コマンドを入力します。

5 5 3

「パッシブ機能設定しました。」

※電話またはキーレスエントリーリモコンまたはエンジン停止後、ドアの開閉を確認後約３０秒後に自動的にシステムを作動します。

4 強制パッシブ設定コマンドを入力します。

「強制パッシブ機能設定しました。」

※電話またはキーレスエントリーリモコンまたは車両の状況に関係なくエンジン停止後約３０秒で自動的にシステムを作動します。

【パニックモード】

●電話機から強制的に車両に設置されたサイレンを鳴らすことができます。

1 P. 8 と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2 パニックモードコマンドを入力します。

1 1 0

110

「ホーネットは警報を発報しました。」

電話機から強制的にサイレンを鳴らすことができます。

※パニックモードでは、あらかじめ設定されたサイレンタイム分のサイレンが鳴ります。
※システム作動中、解除中でもパニックモードで強制的にサイレンを鳴らすことができます。
※サイレン終了後はサイレンが鳴る前の状態に復帰します。

【外部チャンネル制御】

●電話機からのコマンドでTERRA TS-1に設置された外部機器の制御ができます。
　信号は(－)２００mAで出力されます。別売のホーネットエンジンスターターRSK-1(¥29,800)
　などの制御用としてご利用いただけます。

1　P.８と同様にTERRAに電話をかけ、暗証番号を入力し、コマンド待ち状態にします。

070123456781234

2　チャンネル２コマンドを入力します。

3　2　1

321

「チャンネル２出力しました。」

車両に設置した機器の制御ができます。
詳しくはTERRA認定店または当社カスタマーセンターまでお問合せください。

3　チャンネル３コマンドを入力します。

「チャンネル３出力しました。」

※チャンネル２，３の制御線（赤／白、青／白線）に機器が接続されていない場合には、
　外部機器の制御は行えません。

TERRA TS-1付属の高感度２段階衝撃センサー（504D）はこれまで一般的に広く使用されていたピエゾ素子を使用せず、車両に加えられる瞬間的な衝撃または衝撃波の分析を行うことで、誤作動をなくしました。
雨や風の揺れはもちろん、トラック通過の連続した微震動では反応せず、車体に加わる瞬間的な衝撃のみを敏感に検出できるようになりました。バックファイヤーなどの瞬間的な衝撃波には反応する場合があります。

【犯罪事例と反応の仕方】

犯罪の事例	内蔵センサー	検出形態	反応の仕方
当て逃げ	２段階衝撃センサー	瞬間的な衝撃	警告またはサイレン
タイヤ、ホイールの盗難	２段階衝撃センサー	連続した衝撃、微振動	警告またはサイレン 警告からサイレン
窓ガラス割り	２段階衝撃センサー	瞬間的または連続した衝撃	警告またはサイレン 警告からサイレン
ドア、トランクのこじ開け	ドアトリガー	ドアスイッチからドア開き検出	即サイレン

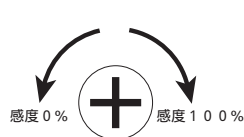
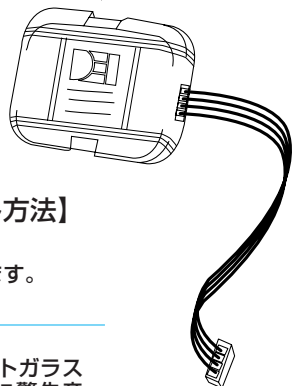
【上手な感度設定の仕方】

●クルマを駐車している環境に応じて感度を設定する必要があります。
　自分の好みの感度に調整するたけでなく実際にクルマを駐車する場所（自宅、会社など）で適切な感度に設定する必要があります。

　例１：微振動が発生する要素が多くある場合
　　・幹線道路の近くでトラックなどの往来がある（微振動）
　　・バックファイヤーの激しいクルマが往来する（衝撃波）
　　・飛行場などの近く・工事現場や工場の近くなど（微振動や衝撃波）
　例２：犯罪防止のため必ずサイレンを鳴らしたい
　　サイレンが鳴っても特に問題ない環境
　例３：閑静な住宅街でサイレンは鳴らしたくない

●TERRA TS-1は１２８dBの大音量で警告またはサイレンによる威嚇ができます。
●２段階衝撃センサーの感度を０に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのドアトリガー線は独立して作動しています。ドアなどがこじ開けられた場合にサイレンが鳴ることを確認してください。
●２段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
●２段階衝撃センサーの感度が０でない場合、タイヤ盗難や窓ガラス割りを防ぐため連続した微振動を検出してサイレンが鳴るようにプログラムされていますので環境に応じて有効にご利用ください。

高感度２段階衝撃センサー感度調整

確認！ 感度調整は、TERRA TS-1の取付終了後に行ってください。
感度調整はクルマの駐車する環境に合わせて都度行ってください。

◆高感度２段階衝撃センサーの感度調整
ボリュームをドライバーなどで
ゆっくり回します。

【高感度２段階衝撃センサーのテスト方法】

1 TERRA TS-1を作動（ON）します。

2 ５秒以上待ってから、こぶしでフロントガラスやボディを軽くたたくなどしたときに警告音「ピッピッピッピッ」が出る程度が最適な感度です。テストを繰り返しながら適切な感度に調整します。
テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。

＊テストは必ず５秒経過後に行ってください。

1・2・3・4・5…
ゆっくり
カウントしてね

⚠注意

●高感度２段階衝撃センサーの感度を０に設定した場合でも、ドアのこじ開けを検出するためのドアトリガーは独立して作動しています。
ドアなどがこじ開けられた場合にサイレンが鳴ることを確認してください。
●高感度2段階衝撃センサーは風などによる“揺れ”には反応しません。
●テストの際はガラスやボディなどが破損しないように十分注意してください。
●高感度２段階衝撃センサーの特徴として、タイヤ盗難を想定し弱い衝撃が連続して加わった場合にもサイレン音が出るよう設定されています。幹線道路沿いなど、車通りの多い場所では連続した振動によりサイレン音が出ることがありますので感度を下げてご利用ください。
地震、雷、ひょう、航空機の爆音、自動車のバックファイヤーなど衝撃の要素は様々です。
周囲の環境に応じて適切な感度にてご利用ください。
●故障、破損の原因になりますので感度調整ボリュームは回しすぎないようご注意ください。

TERRA TS-1コマンド表

		制御／設定項目	作動（ON）	解除（OFF）
①	システム	パニックモード（強制発報）	110	
		システム作動／解除	111	113
②	センサー	センサー１作動／解除	211	213
		センサー２作動／解除	221	223
		センサー３作動／解除	231	233
③	外部出力	チャンネル２出力	321	
		チャンネル３出力	331	
④	状況確認	TERRA作動状況	411	
		エンジン作動状況	421	
		センサー発報履歴確認／消去	431	433
⑤	機能設定	警告電話発信設定／解除	511	513
		クリックトーン設定／解除	521	523
		センサーバイパス警告設定／解除	531	533
		アクティブ／パッシブ／強制パッシブ	551 / 553 / 555	
⑥	サイレン	サイレンタイム　5、10、15、30秒	605 / 610 / 615 / 630	
⑨	電話番号	電話番号登録　電話番号　1，2，3	981 / 982 / 983	
		電話番号確認　電話番号　1，2，3	991 / 992 / 993	

※トーン信号の発信できる電話機からTERRA TS-1の機能設定をします。
※コマンド表のコマンドを入力するたびにダイレクトに機能が変更され、メッセージが流れます。
※機能設定後は通信を切断してください。
※回線接続中は連続してコマンド可能ですが、一度設定を終了し回線を切断した場合には、３０秒以上待ってから次の設定を行ってください。（TERRA TS-1が回線を切断するためには、最大で約３０秒程度かかります。）

TERRA緊急通報について

TERRAに接続されたセンサーが作動した場合、あらかじめ登録済みの電話番号に緊急通報することができます。
緊急通報は電話番号１、２、３の順に行います。
電話番号１が通話中や圏外の場合には、電話番号２、３と順番にTERRAが通報してくれます。
センサーが作動して警告、または警報サイレンがでてから緊急通報される時のタイミングは電話回線の接続状況によって異なります。
TERRAが電波の弱い場所にあり回線にうまく接続できない場合には、回線への接続を２分おきに何度も試みます。

例１：メインユニット青線（センサー１）に接続された
　　　センサーが作動し、警告がでた場合の通報例

電話番号１に電話がかかります。

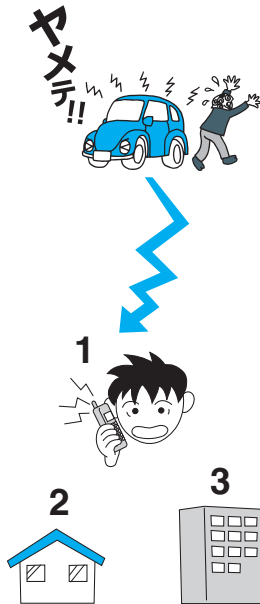
電話を受けると
「センサー１が警告を発報しました。センサー１が警告を発報しました。センサー１が警告を発報しました。」と３回メッセージが流れて電話が切れます。

電話が切れる前に受け側から電話を切断した場合に、回線処理のため、３０秒間制御できません。
TERRAの制御を行いたい場合には、メッセージをすべて聞き終わり、TERRAが回線を切断するのを待ってから電話をかけてください。数秒で復帰し、制御可能となります。

受側にて回線を切断した場合には、次の操作は30秒以上待ってから行ってください。

回線使用料について

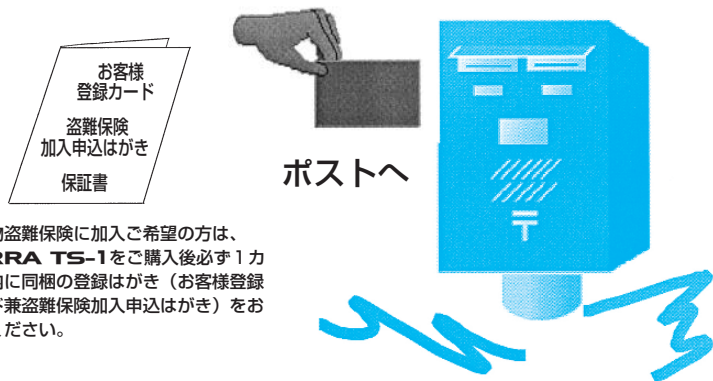
TERRA TS-1から緊急通報があった場合には、通信料として、約40円／回・分の料金が発生します。
お客様のお電話からTERRAの制御、機能設定などを行った場合には、お客様がご利用の電話会社規定の料金がかかります。

※緊急発報中でもあってもTERRAを解除すると、緊急通報は停止し、通報の記憶は消去され、次回システムを作動しても緊急通報されません。

故障かな？と思ったら

症状	原因
☆勝手にサイレンが鳴る	●2段階衝撃センサーの固定が確実にされていますか。 ●電源の接触不良はありませんか。 ●高感度2段階衝撃センサーの感度が高すぎませんか。 ●バッテリーは弱っていませんか。
☆ドアを開けてもサイレンが鳴らない	●“ピッ”と作動音がしてから5秒以上待ちましたか。 ●ドアトリガー配線（緑線）は確実にされていますか。 ●電源の接続場所は説明書どおりになっていますか。 ●“ピッ”と鳴ってから再度“ピッ”と鳴っていませんか？半ドアなどの可能性があります。
☆衝撃を加えてもサイレンが鳴らない	●“ピッ”と作動音がしてから5秒以上待ちましたか。 ●車体を揺らしていませんか。揺れには反応しません。 ●2段階衝撃センサーの感度が低すぎませんか。 ●2段階衝撃センサーの感度がゼロになっていませんか。 ●黄線を常時電源に接続していませんか。黄線はIG線に接続します。
☆電話がかからない	●電源の接触不良はありませんか。 ●通信ユニットは電波のエリア内にありますか。 ●電話番号はあっていますか。 ●暗証番号はあっていますか。 ●通信ユニットが待機状態になるまで待って再度掛け直してください。
☆TERRAに電話がかからない	●電話回線を切断してから、約30秒待ちましたか？ 話中などの場合には、再度電話を掛け直してください。
☆通報が来ない	●通報先電話番号の登録は正しくされていますか。 ●通信ユニットは電波のエリア内にありますか。 ●電話番号はあっていますか。 ●通信ユニットが待機状態になるまで待って再度お試しください。

●上記のテストを行っても、正しく作動しないなど、詳しくはお買い求めの販売取付店またはホーネットカスタマーセンターまでお尋ねください。

車載物盗難保険について（必ずお読みください）

TERRA TS-1には車載物（カーオーディオ全般、カーナビゲーション、カーテレビ、無線機）を対象とした盗難保険加入申込はがきが同梱されています。
保険期間は、お申し込みが確認された月の翌月１日午後４時から１年間です。
（翌年のみ有料（￥2,000）にて更新が可能です。）
ご加入の前に保険加入申込みはがきの内容を必ずご熟読ください。

車載物盗難保険に加入ご希望の方は、**TERRA TS-1**をご購入後必ず１カ月以内に同梱の登録はがき（お客様登録カード兼盗難保険加入申込はがき）をお送りください。

⚠ 重要

車載物盗難保険はお客様登録カード（はがき）兼保険加入申込はがきが返送されていない場合には無効になります。ご購入後１ヶ月以降に投函されたものに関しても無効とさせていただきますのでご了承ください。また、車載物の盗難、車両盗難などが万一発生しても当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ご加入の前に必ず同梱の保険加入申込はがきの内容および注意事項をよくお読みください。車載物盗難保険のご不明な点または詳細につきましては、保険登録はがきに記載の損害保険会社までお問い合わせください。

アフターサービスについて

アフターサービスついて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理します。
本機の保証期間はお買い上げの日から１年間です。
保証期間経過後は、修理によって本機の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。本機の補修用性能部品は製造打切り後、最低６年間保存しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

商品には保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず保証書をお受取りの上、大切に保存してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
シリアル番号（ＩＤ番号）は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。
商品にはお客様登録カード（ハガキ）を添付しております。ご購入の際には、必ずお客様登録カードをお受取りください。
お客様の安全管理、アフターサービスのため、メインユニットのシリアル番号（ＩＤ番号）の登録は必ずお客様登録カード（ハガキ）により郵送にて行ってください。（ＦＡＸ不可）また、ユーザー登録がされてない場合にはサポートが受けられない場合がありますのであらかじめご了承ください。

修理をご依頼の前に

説明書に記載の「故障かな？と思ったら」(P.２５)を参考にして、故障かどうかを確認してください。
故障とお考えの前にカスタマーセンターにご相談ください。
使用上の誤りや、不当な修理や改造による故障および損傷で修理サービスを依頼されますと、保証期間中であっても有料となります。新たにシリアル番号を発行した場合には保証期間中であっても有料修理扱いとなります。
・万一、故障が生じたときは、**TERRA**取扱店またはお買い上げの販売店に依頼してください。
・お近くに取扱店がない場合はカスタマーセンターにご相談ください。
・修理を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼されるときは　ー保証書は必ず添付してくださいー

次の事項を確認して、お買い上げの販売店または**TERRA**取扱店にご依頼ください。
① 型式名、型番号、シリアル番号
（例：TERRA TS-1　1234567789）
② 故障の内容
（どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか・時々かなど）
③ お買い上げ年月日
④ お買い上げ店名
⑤ お名前、住所、連絡先電話番号

ホーネットカスタマーセンター

TEL0569-26-0088　FAX0569-26-0089（月～金　午前10時～午後5時／土、日、祝祭日、年末年始等は除く）
お問い合わせの際は、TERRA TS-1のシリアル番号を確認させていただきますのであらかじめご準備ください。

検査／修理規定

1：本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取扱マニュアルなどの注意に従った使用状態で万一自然故障が発生した場合には保証規定に従い、保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参くだされば、無償にて検査／修理／調整などを行います。
ただし、出張修理の場合には出張に要する実費を申し受けます。

2：本製品は持ち込み修理品となりますので、保証期間内に故障して無償修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にお持ちください。その際に発生する送料などはお客様のご負担にてお願い申し上げます。その際には、保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合や必要事項が記載されていない場合には保証対象外となり有償修理となります。

3：ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合にはお客様のご負担にて当社修理窓口まで商品をお送りください。

4：保証期間内でも次の場合には有償検査／修理になります。
- 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
- 不当な修理、改造による故障および損傷
- お買い上げ後の取付け場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷その他天変地変、公害、塩害、などによる故障および損傷
- 自動車事故により発生した故障および損傷
- 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
- 保証書のご提示がない場合または保証書記載内容に不備のある場合
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入あるいは不明確あるいは文字を書き換えられた場合
- 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合

5：保証規定は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）

●販売店の方へ
この保証はお客様へのアフタサービスの実施と責任を明確にするためのものです。
ただし、販売店で個別に保証書を発行する場合にはこの限りではありません。
この保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間を過ぎている場合は、修理できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。（この期間は通商産業省の指導によるものです。）
ご不明の場合は、お買い上げの販売店またはホーネットカスタマーセンターにお問い合わせください。

■製造発売元
KATO-DENKI
加藤電機株式会社セキュリティ事業部
〒475-8574　愛知県半田市花園町6-28-10

■カスタマーセンター
TEL0569-26-0088　FAX0569-26-0089
（営業時間：月～金10：00～12：00、13：00～17：00／土・日・祝祭日、年末年始等は除く）
お問い合わせの際は、TERRA TS-1の型式とシリアル番号を確認させていただきますのであらかじめご準備ください。

MEMO